

学習課題（小学校2年生）



【こくご】けいかくをたててすこしずつとりくんでいきましょう。

<べんきょうすること>

◆「ともだちをさがそう」（きょうかしよ 34～37 ページ）にとりくみます。

- ①まいごのおしらせを^き聞いて、35 ページの^え絵の中から「ゆかさん」をさがします。
 - ・36 ページの「まいごのおしらせ」を^よ読みます。
 - ・そのおしらせを聞き（読み）、ゆかさんをさがすヒントをメモします。
 - ・メモを手がかりに、35 ページの絵からさがします。
- ②メモをとるときに、くふうしたことをノートや^{とりくみ}取組シートに書きます。
※（くふうの例）みじかく書いた・ものなまえだけにした など
- ③きょうかしよ 35 ページのまいごのアナウンスをさんこうにして、ほかの子のアナウンスをしてみましよう。
※なまえやねんれいなどは、じぶんできめてもいいです。

（例）

かんたんな絵でいいですよ

◆「音のたかさ」（37 ページ）にとりくみます。

- ①「ひらがなで書くとおなじことば」をさがしてみましよう。
※れい）あめ…そらからふる「あめ」
たべる「あめ」 など
- ②こえに出していつてみたとき、いいかたにちがいはありましたか？かんたんな絵をかきながら、ちがいがわかるようにノートや取組シートに書いてみましよう。
※れい）音がたかくなるほうに○、かわらないときはなにも書かない など

あめ	 あめ	 あめ
はし	 はし	 はし
はな	 はな	 はな

<保護者による関わり方のポイント>

- ・今回の「まいごをさがそう」は話を聞き、大事なポイントをメモする学習です。可能であれば、P35のアナウンスを実際にしていただけるとより効果的な学習になります。また、教科書P36のQRコードを読みこむと、まいごのおしらせのアナウンスをながすこともできます。
- ・アナウンスを読む際に少し早口で読んだりするとメモが追い付かず、「全部書けないよ！」という思いをもたせると、メモの仕方の工夫に目を向けることができます。箇条書きや矢印などのメモの工夫は4年生の学習にあたります。そのような工夫が見られた場合は、たくさん褒めてあげてください。
- ・「音のたかさ」の学習ですが、絵に表しにくいものもあると思います。その場合、絵は描かず、文字のみで構いません。

さんすう
【算数】

「※」は勉強するときの先生からのアドバイスです。

<べんきょうすること>

◆たし算（くり上がりなし）（きょうかしよ22～26ページ）

遠足（えんそく）のおかしを かいにきました。おかしを2つえらぼう。

ガム
5円

ゼリー
8円

ガムとゼリーを かうと

しき =

クッキー
40円

キャラメル
50円

クッキーとキャラメルを かうと

しき =

ドーナツ
24円

ラムネ
15円

ドーナツとラムネを かうと

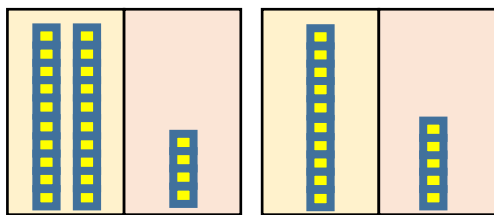
しき

あれ？ 40+50のような 計算（けいさん）とも ちがうね？

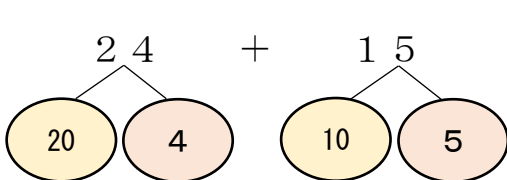


24+15の 計算のしかたは どうすればいいかな？

下の 2つの計算のしかたについて わかりやすいほうの
考え（かんが）について 声（こゑ）にだして せつ明（せつめい） しましょう。



が3こで ■が9こで



20 + 10 =

4 + 5 =

あわせて

24+15を 位を たてにそろえて 書きました。
位ごとに 計算（けいさん） しましょう。

十の位の計算

10が 2 + 1 こ

2 + 1 = 3

一の位の計算

1が 4 + 5 こ

4 + 5 = 9

	2	4	
+	1	5	
□	□		

※このような計算のしかたを
**ひっさん
筆算**といいます。

※たいせつにしよう！

① 位をたてにそろえて書く。
② 位ごとに計算をする。

<れんしゅうもんだい①> 筆算で しましょう。

(1) 22 + 15 (2) 37 + 40 (3) 30 + 50

(1)		2	2		(2)		3	7		(3)				
	+	1	5			+								

<れんしゅうもんだい②> ノートに 筆算で しましょう。

(1) 31 + 62 (2) 64 + 25 (3) 50 + 25

<この ^{べんきょう}勉強で、わかったことや、きづいたこと、
おもしろかったところを、ノートに書いたりおうちのひとに
^{はな}お話ししてみよう。>

<保護者による関わり方のポイント>

◆たし算（教科書 P22～26）

- ・<はてな？>にある計算の仕方を、図などに置き換えて考えることは、筆算の意味を考える上で大切です。時間があれば説明を聞いてあげてほしいと思います。
- ・筆算の仕方についても、教科書 P26 のように、図を見て指をさしながら説明したりする活動を、時間のある時に取り組むことで、筆算の意味の理解につながります。

【たいいく】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめて取り組みましょう。道具を使うときは、かたい物や割れる物は使わず、安全に行いましょう。

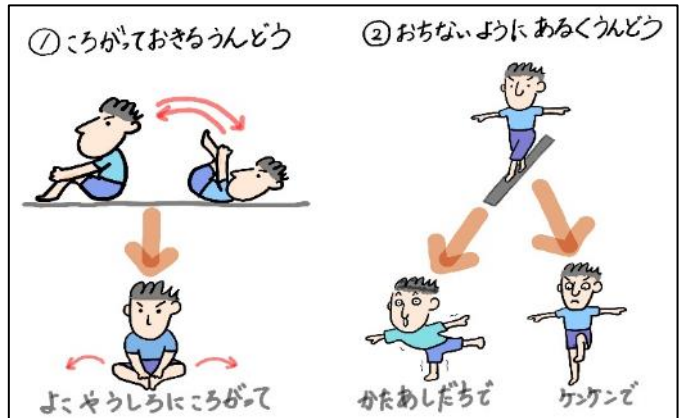
<べんきょうすること>

※どうがを見るときは、みぎのQRコードをつかってください。



◆「からだのバランスをとる運動」にとりくみましょう。

(1) ①の「ころがっておきあがる運動」と②の「しんぶんしなどの上をおちないようにあるく運動」にチャレンジしてみましよう。



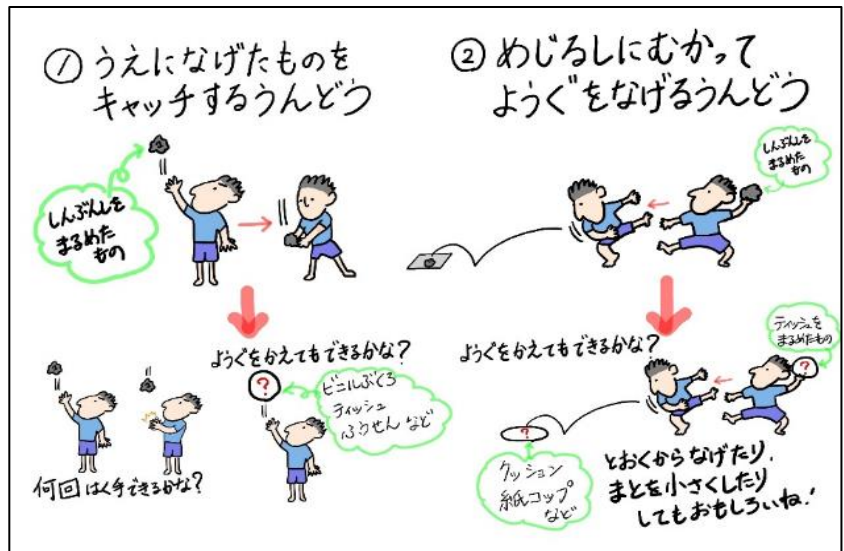
(2) しせいをかえてチャレンジしてみましよう。

(3) ほかのしせいもかんがえて、チャレンジしてみましよう。

◆「ようぐをそうさする運動」にとりくみましょう。

(1) ①の「うえになげたものをキャッチする運動」と、②の「目印に向かってようぐをなげる運動」にチャレンジしてみましよう。

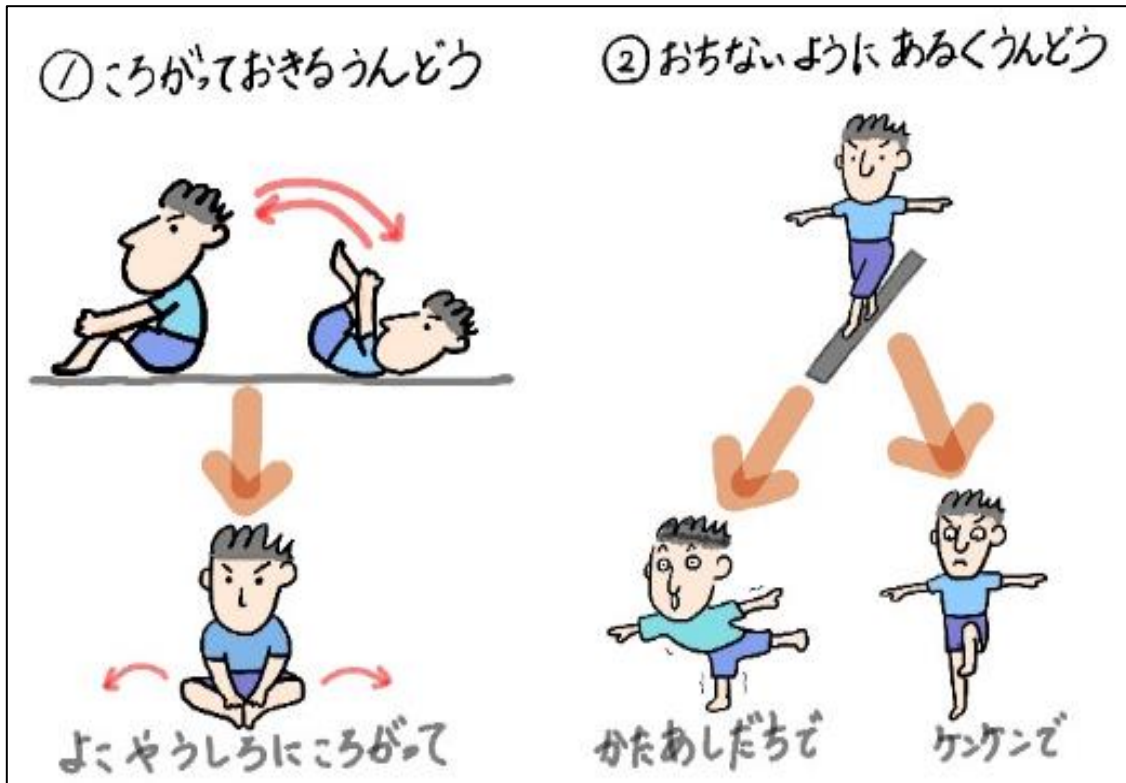
(2) つかうようぐをかえたり、いろいろな動きをくわえたりしてくふうしてみましよう。



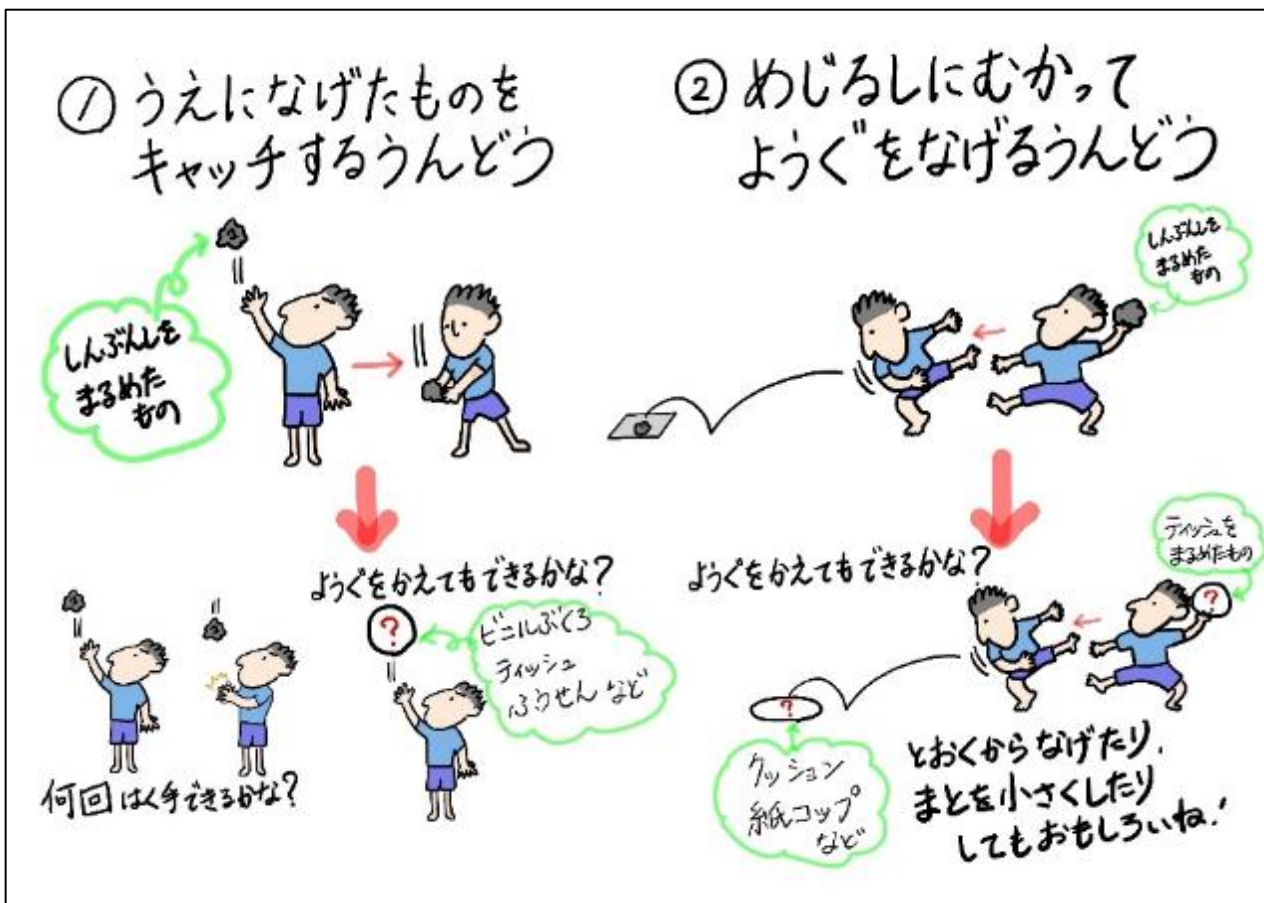
<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・体づくり運動は、運動の楽しさを味わいながら、体の基本的な動きを身に付けていくことを目指しています。また、自分に合った運動の行い方を工夫できるようにすることも大切にしています。
- ・失敗しても何度もチャレンジしたり、時間や距離を変えるなどの仕方をしたりする姿を、ぜひほめていただきたいと思います。

「からだの**ばらんす**をとる**うんどう**運動」



「ようぐをそうさする**うんどう**運動」



パソコンなどで、あたりきいたりできるひとは、とりくんでみましょう。
【音がく】

<べんきょうすること>

◆はるのようすや、かしがあらわすようすをおもいうかべながら、『はるがきた』（きょうかしよ 68～69 ページ）をうたいましょう。

(1) 『はるがきた』のかしをよみましょう。おもいうかべたことやかんじたことを、おうちの人にはなしてみましよう。

(2) 『はるがきた』をききましょう。



(3) はるのようすをおもいうかべながら『はるがきた』をうたいましょう。

(4) うたえるようになったら、からだをうごかしながらうたってみましよう。どうがを見ながら、1ばんをいっしょにやってみましよう。



◆『ずいずいずっころばし』（きょうかしよ 58 ページ）をきいたりうたったりしてあそびましよう。

(1) 『ずいずいずっころばし』をききましょう。



(2) 『ずいずいずっころばし』のあそび方を、どうがで見たしかめましよう。

(3) うたいながらおうちの人とあそんでましよう。



<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

・『はるがきた』は、春の様子を思い浮かべて、明るくのびのびとした歌声で歌うことが大切です。また、同じ言葉が繰り返されていることや、1・2・3番の歌詞に共通していることなどにお子さんが気付いた際には、大いにほめてあげてください。春の様子を思い浮かべる際には、挿絵を参考にしたり、近所にある自然や散歩に出かけた時のことなどを思い出せるように声かけしてあげたりすると効果的です。

・『はるがきた』にはパートナーソング『はるのまきば』（72 ページ）があります。歌詞を「ランラン」などに変えて、『はるがきた』と重ねて歌うことができます。



・かぞえうたや手遊びうたは、楽しく遊びながら日本の音階に親しむことのできるものです。『ずいずいずっころばし』は、ぜひお子様と一緒にあそんでみてください。